



新機能および変更された機能に関する情報

- [新機能および変更された機能に関する情報 \(1 ページ\)](#)

新機能および変更された機能に関する情報



- (注) 最初に操作するリリースの「*Cisco Application Policy Infrastructure Controller Release Notes*」を常に確認してください。

次の表は、この最新リリースに関するマニュアルでの主な変更点の概要を示したものです。ただし、このリリースに関するガイドの変更点や新機能の中には、一部、この表に記載されていないものもあります。

表 1: 新機能および変更された機能に関する情報

Cisco APIC のリリースバージョン	機能	説明	参照先
Release 5.1(1)	APIC またはスイッチソフトウェアのアップグレード時の GUI によるアップグレードプロセスの拡張。	リリース 5.1(1) から、GUI を使用した APIC およびスイッチソフトウェアのアップグレードプロセスが強化されました。	Cisco APIC およびスイッチソフトウェアのアップグレードとダウングレード
Release 5.1(1)	アップグレードまたはダウングレード操作がトリガーされる前に、追加の検証が実行されます。	ソフトウェアをアップグレードまたはダウングレードすると、追加の検証が実行され、検証中に問題が見つかった場合は 5.1(1) リリースの一部として警告が表示されます。	Cisco APIC およびスイッチソフトウェアのアップグレードとダウングレード

Cisco APICのリリースバージョン	機能	説明	参照先
リリース 4.2(5)	アップグレードまたはダウングレード操作がトリガーされる前に、追加の検証が実行されます。	リリース4.2(5)以降、アップグレードまたはダウングレード操作をトリガーしようとする、操作がトリガーされる前に追加の検証が実行され、検証中に問題が見つかった場合は警告が表示されます。	Cisco APIC およびスイッチ ソフトウェアのアップグレードとダウングレード
リリース 4.2(5)	コントローラのアップグレード時に提供される追加情報。	リリース 4.2(5) 以降では、コントローラのアップグレードプロセスのステータスに関する追加情報が提供される場合があります。	Cisco APIC およびスイッチ ソフトウェアのアップグレードとダウングレード
リリース 4.2(5)	ファームウェアアップグレードグループのスイッチ ノードをアップグレードするときに提供される追加情報。	リリース 4.2(5) 以降では、ファームウェアアップグレードグループのノードをアップグレードするときに、ファームウェアのダウンロードの進行中にステータスが表示されます。	Cisco APIC およびスイッチ ソフトウェアのアップグレードとダウングレード
リリース 4.2(5)	システムが一度にアップグレードできるスイッチの数が変更されました。	リリース 4.2(5) 以降、デフォルトでは、システムが一度にアップグレードできるスイッチの数が 20 から無制限に変更されました。	Cisco APIC およびスイッチ ソフトウェアのアップグレードとダウングレード
リリース 4.2(1)	検証は、アップグレードまたはダウングレード操作がトリガーされる前に実行されます。	リリース 4.2(1) 以降では、アップグレードまたはダウングレード操作をトリガーしようとする、操作がトリガーされる前に、いくつかの検証が実行され、検証中に障害が見つかった場合は警告が表示されます。	Cisco APIC およびスイッチ ソフトウェアのアップグレードとダウングレード

Cisco APICのリリースバージョン	機能	説明	参照先
	APICアップグレードパスおよびダウングレードパスをドキュメントから削除	APICアップグレードパスおよびダウングレードパスをドキュメントから削除しました。APICアップグレードパスおよびダウングレードパスについては、「Cisco APICアップグレードまたはダウングレードサポート一覧表」を参照してください。 https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/Website/datacenter/apicmatrix/index.html	
4.1(2x)	サイレントロールパッケージのアップグレード	サイレントロールパッケージのアップグレードでは、ACIスイッチソフトウェアOS全体をアップグレードすることなく、ACIスイッチハードウェアSDK、ドライバなどの内部パッケージのアップグレードを手動で実行できます。	サイレントロールパッケージのアップグレードについて
	『Cisco APIC リリース 4.0(1) インストール、アップグレード、ダウングレードガイド』はもうご利用いただけません。	『Cisco APIC リリース 4.0(1) インストール、アップグレード、ダウングレードガイド』はもうご利用いただけません。掲載されていた情報は、アップグレードパスおよびダウングレードパス以外はすべて本ドキュメントでご覧いただけます。	
リリース 4.0(1)	アップグレード方式としてサポートされなくなった bash	リリース 4.0(1)以降、bash を使用して Cisco APIC およびスイッチソフトウェアをアップグレードすることはできません。代わりに NX-OS スタイル CLI を使用して Cisco APIC およびスイッチソフトウェアをアップグレードしてください。	Cisco APIC およびスイッチソフトウェアのアップグレードとダウングレード

Cisco APICのリリースバージョン	機能	説明	参照先
リリース 4.0(1)	GUIを使用したアップグレード手順の変更	Cisco APIC リリース 4.0(1) から、GUIを使用したソフトウェアのアップグレード手順が変更されました。	Cisco APIC およびスイッチ ソフトウェアのアップグレードとダウングレード
リリース 3.2(1m)	Cisco APIC 長寿命リリース		Cisco APIC 長期リリース
リリース 2.3(1e)	ネットワーク設定機能と混合 OS 動作中の変更	追加機能のサポートが追加されました。	Cisco ACI スイッチの混合バージョン中に許可される操作
リリース 2.2(2e)	ネットワーク設定機能と混合 OS 動作中の変更	この機能が導入されました。	Cisco ACI スイッチの混合バージョン中に許可される操作
リリース 2.2(2e)	--	このガイドの内容が再編成されました。このガイドの以前のリリースでは Cisco APIC クラスタ コンテンツのハイアベイラビリティは「 <i>Cisco APIC Getting</i> 開始ガイド、リリース 2.x」に以降されています。	--
リリース 2.2(1n)	APIC クラスタのハイアベイラビリティ	APIC クラスタのハイアベイラビリティ機能では、Active/Standby モードのクラスタで APIC を操作できます。	このコンテンツは「 <i>Cisco APIC</i> 開始、2.x のリリース」で確認できます。
リリース 1.3(1g)	このドキュメントのタイトルは変更されています。	以前の名前は、Cisco APIC ファームウェア管理ガイドでした。	